

ユーロクリア・バンク 決済プラットフォーム統合と 新顧客通信システム(CCI)



ユーロクリア・バンク
東京駐在員事務所



2008年7月4日

アジェンダ

1. 欧州におけるクロスボーダー取引の問題点
2. ユーロクリアの役割
3. シングル・プラットフォーム・カスタディ
4. コモン・コミュニケーション・インターフェース (CCI)
5. 導入に向けて

欧州におけるクロスボーダー取引の問題点

- 活発化するクロスボーダー取引—決済は引き続き国内主導
- 分断されているクロスボーダー証券決済
 - 異なった市場慣行
 - 異なった財務・会計基準
 - 異なった法的枠組み



複雑化

コスト

リスク

欧州におけるクロスボーダー取引の問題点

- 欧州委員会 (EC)
 - ジョバニーニ・グループ (Giovannini Group)
 - コード・オブ・コンダクト (Code of Conduct)
- 欧州中銀 (ECB) と Target2Securities (T2S)
- 市場参加者
- ユーロクリア・グループ

ユーロクリアの役割

ビジネス・モデル

- ユーロクリア・グループ

- 世界最大の証券決済機関。 債券・株式、インベストメント・ファンド、マネーマーケット商品等の国内・国際決済、保護預かりサービスを提供
- ユーロクリア・バンク(ICSD)及びユーロクリア・ベルギー、ユーロクリア・フランス、ユーロクリア・オランダ、ユーロクリア・UKアイルランドの各CSDで構成

- 2007年度実績

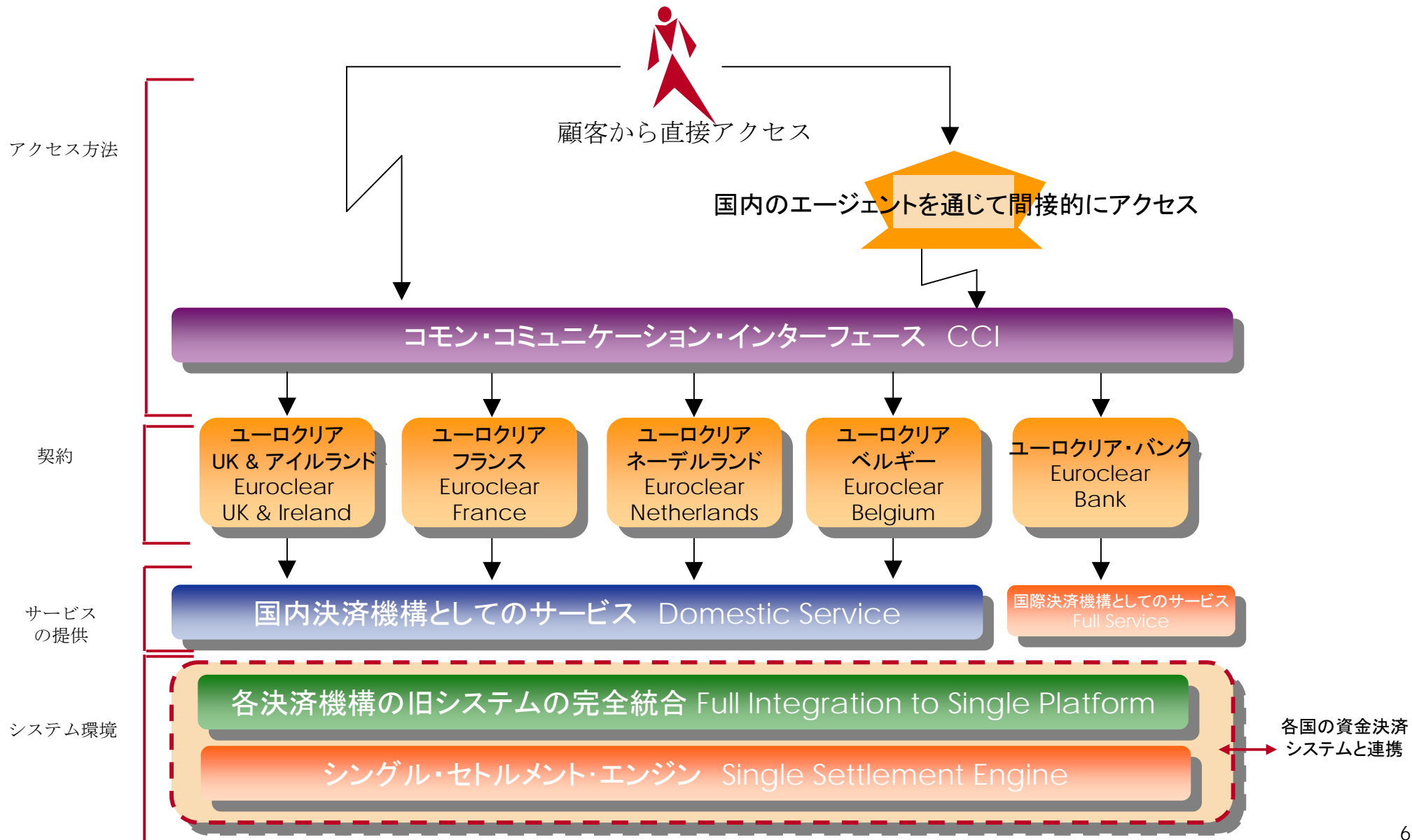
- 総預り資産19兆1700億ユーロ
- 総証券決済高561兆7500億ユーロ
- 決済件数(ネッティング後)1億5550万件

- ユーロクリア・グループの「ビジネスモデル」: シングル・プラットフォーム

- 市場慣行の統一と決済システムの統合を通じてクロスボーダー決済にかかるコストを削減

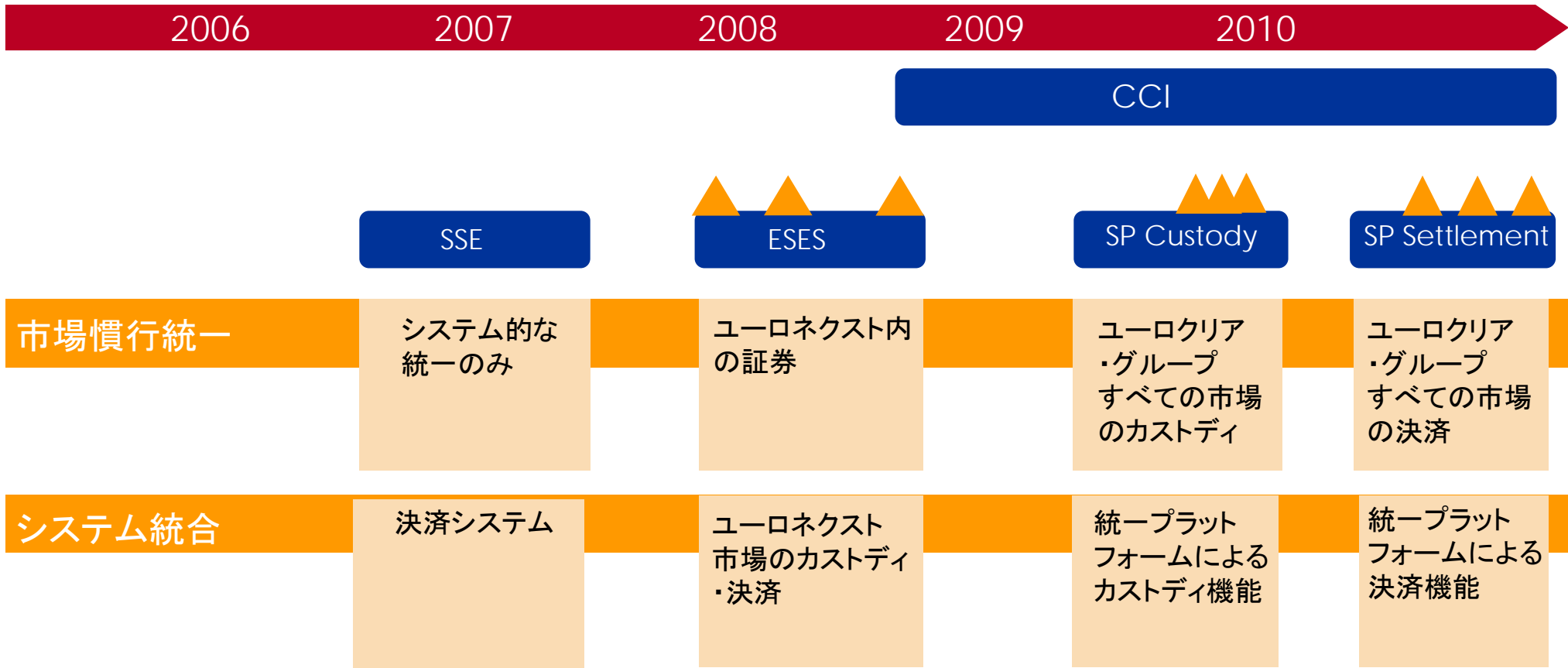
ユーロクリアのビジネスモデル - シングル・プラットフォーム

Euroclear Business Model - Single Platform



ユーロクリアの役割

プラットフォーム統合に向けてのスケジュール



ユーロクリアの役割

ヨーロッパの市場統合の目的

- 市場は、より一層の市場慣行の統一とシステムの統合を通じて、分断化された現状の解決を模索
- 利点:
 - ISO基準の導入
 - STP率の向上
 - コストとリスクの削減
 - ペーパー処理の廃止
 - 市場慣行の統一
 - プラットフォームと処理システムの統合・簡素化

ユーロクリアの役割

分断された現状に対する解決策の提示

ユーロクリア・グループ内の市場関係者の意見を集約

ジョバニーニ障壁の解消に向けての市場関係者の努力をサポートする中心的役割を担う(ECSDA等)

単一欧州市場構築に貢献： ベルギー、フランス、アイルランド、オランダ、イギリス各国におけるコーポレート・アクションや株主総会についてのシステム・プラットフォームの統一

市場慣行の統一に伴うクロス・ボーダー取引コストの削減

シングル・プラットフォーム・カスタディの機能

市場慣行の統一 (Harmonisation)

- コーポレート・アクション処理を4つの大きなタイプにクラス分け:
 - ディストリビューション(分配)
 - ✓ マンダトリー(強制的)
 - ✓ オプション(選択的): イエス/ノー
 - リオーガニゼーション(組織・体制変更)
 - ✓ マンダトリー(強制的)/ボランタリー(自主的)
 - ✓ オプション(選択的): イエス/ノー
 - ✓ 現金/ストック
 - インフォメーション(情報提供) (例: 税金関連、証明書等)
 - 株主総会関連 (2010年半ば以降)
- すべてのイベントに関して、単一の日にち設定(権利落ち日、権利確定日、支払日等)

シングル・プラットフォーム・カスタディの機能

規格の統一 (Standardization)

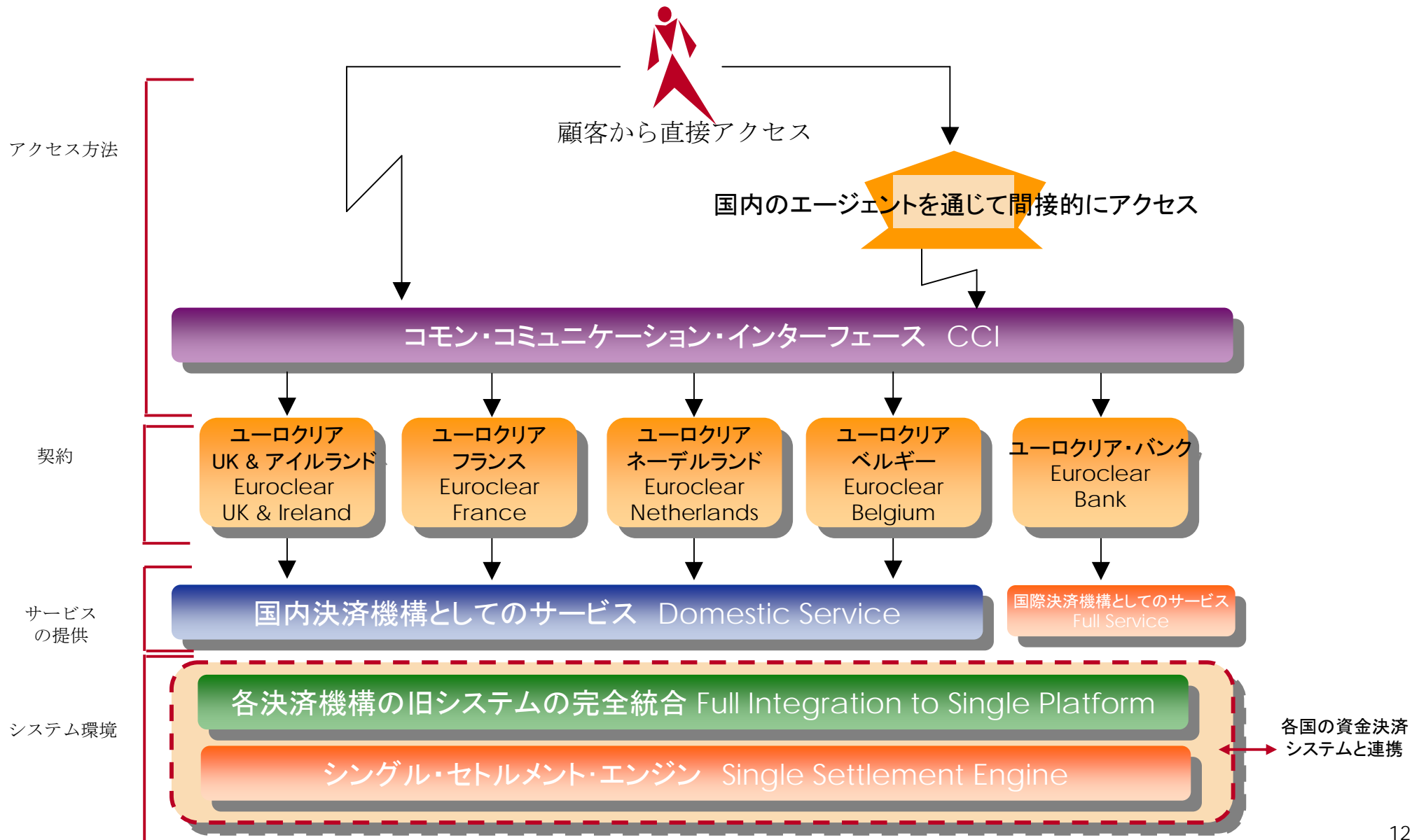
- ISO15022によるSTPメッセージ (議決権電子行使/株主総会はISO20022)
- 統一規格の通知方法に沿った規格化された処理

効率性の向上

- 利金・配当金のリアルタイムベースの資金入金とレポーティング
- コーポレート・アクションから生じる資金・証券の入金・在庫予定を通知する権利確定案内レポート
- マーケット・クレームが発生するケースの減少
- 紙ベースの処理の削減

ユーロクリアのビジネスモデル - シングル・プラットフォーム

Euroclear Business Model - Single Platform



複数のマーケット、複数のフォーマットの並存

ドメスティック・サービス

- UK・アイルランド
 - コア・サービス/ノン・コア・サービス
 - 独自のメッセージタイプ
 - コア・サービス向けの部分的ISO規格フォーマット
- フランス
 - コア・サービス/ノン・コア・サービス
 - 独自のメッセージタイプ
- オランダ
 - ISO規格メッセージ
 - コア・サービス
- ベルギー
 - ISO規格メッセージ
 - コア・サービス

フル・サービス

- ユーロクリア・バンク
 - コア・サービス/ノン・コア・サービス
 - 独自のメッセージタイプ
 - 多くのアクティビティについてISO規格オプション

複数のマーケット

シングル・フォーマット

並存

ドメスティック・サービス

フル・サービス

UK・アイルランド
コア・サービス/ノン・コア・サービス
独自のメッセージタイプ
コア・サービス向けの部分的ISO規格フォーマット
フランス
コア・サ

● ユーロクリア・...

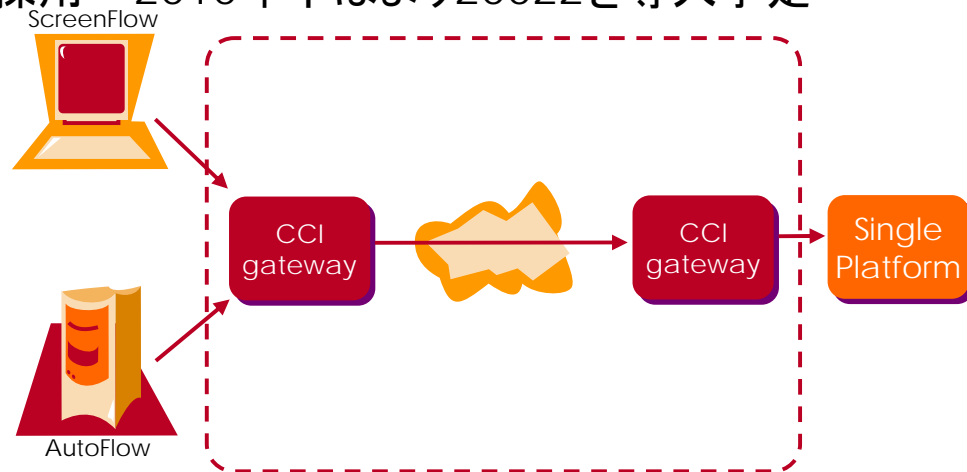
● コア・サービ
タイプ
についてISO規

- スクリーンフロー及びSTPフロー
- メッセージング又はファイル・トランスファー
- すべてのサービスについてISO規格メッセージ
 - ドメスティック及びフル・サービス
 - コア及びノン・コア・サービス
- 独自メッセージの廃止

コモン・コミュニケーション・インターフェース (CCI)

主な特徴

- フォーマット
 - 全ての発信・受信メッセージにISO15022を採用 – 2010年半ばより20022を導入予定
- 2つのチャンネル
 - STPのためのAutoFlow
 - プッシュ型 (Push mode)
 - メッセージ又はファイル形式
 - グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) としてのScreenFlow
 - プル型 (Pull mode) / Java
 - レポート申込のために必須
 - オペレーター管理のために必須
- Secure Message Services (SMS) のプロバイダー2社
 - BT
 - Soft Gateway =>パブリック・インターネット経由での接続。ScreenFlowのみ
 - 1日あたり30メッセージまで (Soft Gateway 1つに対し)
 - Hard Gateway =>BTのネットワーク経由での接続。ScreenFlowおよびAutoFlow
 - SWIFT
 - SWIFTAlliance Gateway (SAG) = SWIFTNetのネットワークに直接接続するCCI Gateway
 - ScreenFlow => SAGに追加モジュール (WSHA) をインストール
 - AutoFlow => SAGを通じてFIN、FileAct、又はInterAct (20022)



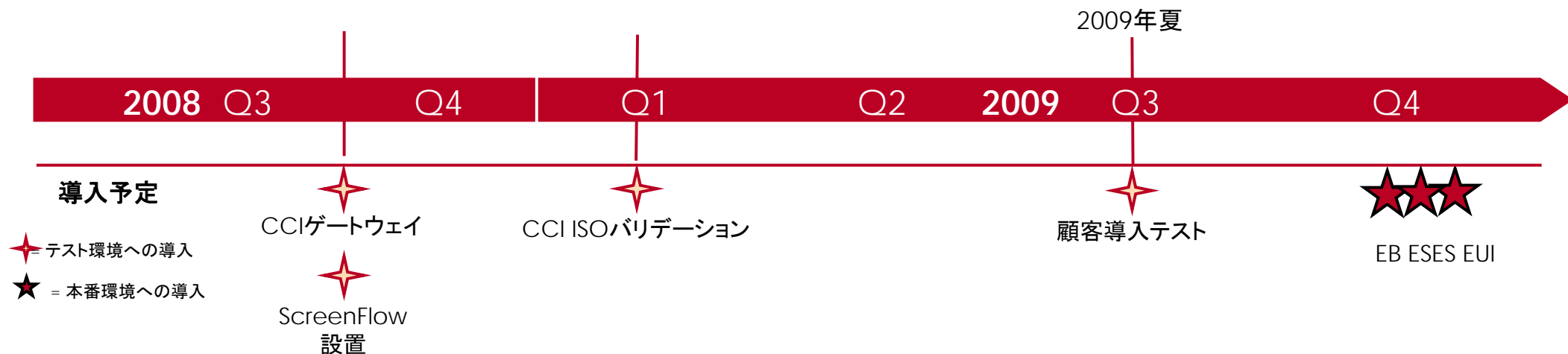
コモン・コミュニケーション・インターフェース (CCI)

ScreenFlowの主要な特徴

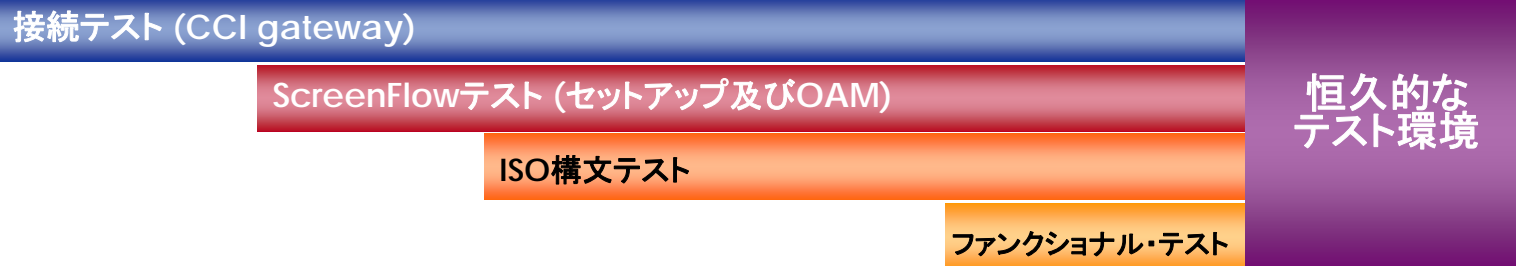
1. プル型 (Pull mechanism)
2. 対話的アクセス
 - すべてのシングル・プラットフォーム機能への照会・入力が可能
 - AutoFlow及びScreenFlowのオペレーター管理機能
3. ユーザー側でのダイナミック・データの保持は無し
 - ローカルデータベースやユーザーの取引情報を保持するファイルは無し
4. オフライン機能
 - 入力データをローカルワークステーションに保存可能
5. CSVファイル形式での出力
6. プリント機能

SPカスタディへの移行(ユーロクリア・バンク)

導入に向けてのスケジュール



テスト環境



- 2008年末までに導入に向けての分析と方針決定を完了
- 2009年半ばまでに導入と機材設置を完了

Eメール・サービス

- まだEメールに登録されていない場合には、
 - www.euroclear.comへアクセス
 - “Register”をクリック
 - 連絡先を入力
 - “Subscribe for free customised news via e-mail”にチェック
 - “Business Model Implementation information”を選択
- 既に登録されている方は、
 - www.euroclear.comへアクセス
 - ログオン
 - “My Profile”を選択
 - “Business Model Implementation information”のボックスを選択



eu ro c le ar